

今、新鮮な感動を生む、ナニワのディープサウス

新世界・通天閣

かつては、野原と畑が広がっていたという大阪・新世界。
「パリとニューヨークを足して2で割ったような歓楽地」として、
活況を呈していました。

そして今、時代の変遷とともに、このエリアは、
全国から訪れる若者たちで賑わっています。
今回は、新世界界隈を散策しながら、
その魅力に迫ってみます。



レポーター
喜多 美由希



初代通天閣：
エッフェル塔と凱旋門を合体させた
デザインの、初代・通天閣

開業50周年を迎えた2代目「通天閣」

新世界のシンボルと言えば昔も今も通天閣ですが、初代通天閣が建てられたのは、約90年前のこと。上がエッフェル塔、下がパリの凱旋門という奇抜なデザインだったのですが、戦時中に焼失。その後、1956年(昭和31年)に現在の2代目が再建されました。今年11月には、その50周年イベントが企画されているそうです。2代目通天閣の設計は、東京タワーや名古屋のテレビ塔を設計した内藤多仲博士です。それぞれのタワーのデザインは確かによく似ています。

通天閣に取り付けられた「日本一」の大きさの大時計を見上げ、「世界初」の円形エレベーターに乗って、いざ

展望台に。合格祈願、縁結びなどの「福の神」として親しまれている5階のピリケン像、大阪の街が360度見渡せる展望台などは定番の人気スポット。イベントホール、遊戯場、コアなファンが大勢いる地下の歌謡劇場など、塔内だけでも見どころがいっぱいです。長く低迷していた入場者数を、10年前のNHKの連続ドラマの影響で盛り返してからは、施設改装やイベント開催などの企業努力で、集客を維持しているのがすごいと思いました。通天閣は、まさに、昭和と平成をつなぐタイムトンネルのようなランドマーク。これからも、新世界のシンボルであり続けてほしいですね。



現在の2代目・通天閣。新世界のランドマークとして親しまれています



最近では、若い世代の姿がよく見られるようになった

新たなブーム到来で、 若者・家族連れが急増中

通天閣を中心に広がる恵美須東1~3丁目の、さまざまな商店や施設が建ち並ぶエリアが新世界です。大阪一の下町として名高く、庶民が愛してきたディープな大阪らしさを満喫できます。最近では、街灯が増え、道路もカラフルに舗装され、カップルや家族連れ、観光客などが気軽に訪れやすくなった新世界ですが、すべてが変わってしまっただけでは、この街の魅力は半減。ほどよい非日常を体感できて、懐かしいものと、新しいものが混在するからこそ、多くの人が新世界に心惹かれるのではないのでしょうか。

細くごちゃごちゃとお店が並ぶジャンジャン横丁を歩き、演劇場や将棋クラブをのぞいたり、気軽に楽しめるスマートボールで遊んだりしましたが、ほかの街では味わえない雰囲気がありました。また、この界隈は安くておいしいものがいっぱい食べられるのも魅力です。今、新世界では串かつが大ブーム。マスコミで報道されるようになってから、今では老舗のお店以外にも、多くの専門店が自慢の味を競っています。



今や貴重な文化遺産ともいえるスマートボールに挑戦

プロレスも、地域の活性化に大きく貢献

フェスティバルゲートに常設会場を構える「大阪プロレス」も、今や新世界を語る上で欠かせない名物の一つです。従来、プロレスの興行は地方巡業を行いますが、大阪の活性化に貢献しながら独自のカラーを打ち出すために、あえて地域密着の形にこだわっているそうです。毎週土・日に開催される試合では、子どもからお年寄りまで、実に幅広い層のファンがレスラーたちに熱い声援を送っていました。この団体のポリシーは、激闘!感動!爆笑!。食いだおれの街・大阪を象徴する人気覆面レスラーなどが活躍して、家族で楽しんでもらえるプロレスがモットー。旅行代理店などが企画する観光コースに組み入れられることもあるそうです。

今回、新世界を訪れて学んだことは、古いものを残しつつも、常に新しいものを取り入れ、創造することが重要であり、それが、生き生きとした街や暮らしにつながっていくという事実です。次の時代を担う若手店主の皆さんも、住民参加の街づくり・街おこしのアイデアを話し合っているそうです。歴史ある街並みや建物に抱く、地域の人々の思いや期待を受け止めながら、その街の魅力が最大限に発揮できる開発や活性化を考えなければと思いました。



親子連れが多い大阪プロレスの会場で、デルフィン社長に挑戦要求(?)



「新世界・通天閣」へは…

地下鉄御堂筋線「恵美須町」駅徒歩3分
地下鉄御堂筋線「動物園前」駅徒歩10分
JR環状線「新今宮」駅徒歩10分
阪堺電気軌道阪堺線「恵美須町」駅徒歩3分
市バス「恵美須町」徒歩3分

取材協力：
・通天閣観光株式会社
取締役 営業部長 西川 孝さん
・新世界町会連合会
会長 半田 昇さん
・大阪プロレス株式会社
スベル・デルフィンさん
宮尾 信次郎さん